

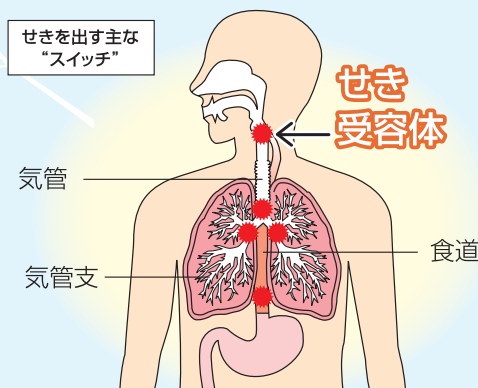
ガマンしないで「長引くせき」!!

「せき」は医療機関を受診する理由のうち、世界で最も頻度が高いと言われています。「せき」が続いても、単なるかぜと考えて我慢している方もしばしば見られます。思いもよらない病気が原因のこともあります。今回は「長引くせき」についてお話します。



「せき」の動きと仕組みについて

肺には空気とともに、病原体やほこりなどの異物が侵入します。この異物は、気管支の粘膜から出てくる「たん」にからめられて、「せき」によって体の外に排出されます。「せき」は「せきを出すスイッチ（せき受容体）」が刺激を受けることで起こります。

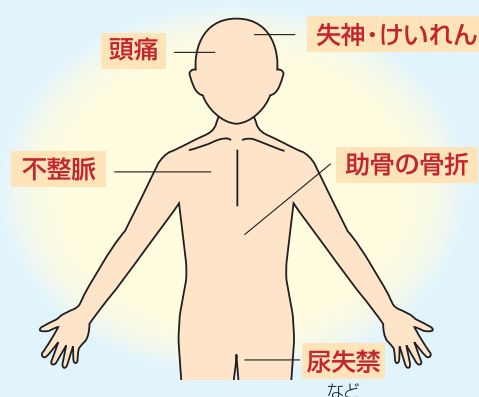


この咽や気管、気管支のほか、食道と胃のつなぎ目辺りなど、さまざまなところにあり、刺激を受けると「せき」が出ます。

「長引くせき」の原因について

せきの原因は、「感染症」と「感染症以外」に大別されます。「感染症」には、かぜのほかに、インフルエンザ・マイコプラズマ肺炎・百日咳・結核などがあります。「感染症以外」には、ぜんそく・胃食道逆流症・COPD（シオロピーブリー/慢性閉塞性肺疾患）・副鼻腔気管支症候群・肺がんなどがあげられます。「せきかぜ」と決めつけない事が大切です。

「せき」の全身への影響について



ポイント
「せき」が長引いたら、軽く考えずに出来るだけ早めにご相談下さい。



せきが続くと体力を消耗し、ひどい場合には肋骨が折れたり失神することもあります。仕事や生活にも影響し、生活の質が低下する恐れもあります。そのため、原因に応じた治療を早め開始する必要があります。まずは十分な問診と必要最小限の検査が必要です。せきが長引く方は我慢せずに、お気軽にご相談ください。



ひらた呼吸器内科
クリニック
院長 平田 範夫

花粉症対策

花粉注意報発令!!



今年も春の花粉症に悩まされる季節がやってきました。スギ花粉症と診断されている患者様は、症状が現れる直前や現れてすぐの段階で始める**初期療法**をお勧めします。従来の薬よりも眠たくなりにくい新薬も長期処方が可能となってきました。ご来院いただきご相談下さい。

お知らせ

ひらた呼吸器内科クリニックはリハビリテーションを始めました

開院以来、皆様からのご要望の多かったリハビリテーションを平成23年12月1日から開始しました。寒い季節は、特に**肩こり・腰痛**などがひどくなりやすいと思います。**疲労回復効果**も期待出来ますので、是非、ご利用下さい。

リハビリテーションについては、皆様の待ち時間を少なくし混雑を避けるために、『**完全予約制**』とさせていただきます。詳しくは当院までお気軽にお問い合わせ下さい。

次回も皆様の生活に役立つ医療情報をお届けいたします。